

平成24年度
横浜市立病院等安全管理者会議
看護部会活動報告

平成25年2月21日

平成24年度看護部会 メンバー

施設名	担当者
横浜市立市民病院	渡邊しのぶ
横浜市立脳血管センター	額田恵子
横浜市立大学付属市民総合医療センター	三浦百合子
横浜市立大学付属病院	久保まゆみ
横浜市立みなと赤十字病院	三上久美子
国立病院機構横浜医療センター	小林洋子
昭和大学横浜市北部病院	山中美恵子
昭和大学藤が丘病院	戸田桂子
横浜労災病院	三田聖子
横浜市南共済病院	滝口由紀子
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	竹林牧子
済生会横浜市南部病院	土橋道子
済生会横浜市東部病院	大原志歩

看護部会 開催実績

第1回看護部会

日時:平成24年7月20日(金)

場所:昭和大学横浜市北部病院

参加施設:7施設



●テーマ

院内研修会へ他院からの参加について
問題解決の取り組みについて

第1回看護部会
院内研修会の他院からの参加について

- オープンセミナーなどの取り組みは行われている
- 開催場所の収容人数・運営など企画施設だけに任せるには限界が



近隣の病院・地域を限定するのが現実的
システム構築にも横浜市の協力が必要では
(会場・費用・窓口・地域連携など)

第1回看護部会
問題解決の取り組みについて

3施設より改善事例についてプレゼンテーション

- 酸素ポンベの安全管理に関する運用改善と
1年後の結果



昭和大学北部病院

- 同意書運用について

横浜市立大学付属病院

- 硬膜外カテーテルの管理運用



昭和大学藤が丘病院

看護部会 開催実績

第2回看護部会

日時:平成24年11月16日(金)

場所:済生会横浜市東部病院

参加施設:10施設



●テーマ

手術室入室時の患者確認、タイムアウト
・サインアウトの実態について

情報共有

麻薬金庫について
院内緊急コールについて
医療安全セミナーについて

第2回看護部会 タイムアウト・サインアウトの実態について

- 各施設の現状報告
- … 侵襲の高い検査・処置への導入がされつつあるが、一方では形骸化の懸念も



- 引き続き教育・トレーニング
- 関係職種全体での協力体制強化(チーム医療)
- 手順の明文化(改訂など)

第2回看護部会 情報共有事項

- 麻薬金庫について
- 院内緊急コールについて
- 医療安全セミナーについて



第2回看護部会 医療安全セミナーについて

- 必須研修の参加率を上げるために各施設で様々な工夫がされているが…
- 年2回開催に関連する業務量の負担(施設全体で研修に取り組む仕組みが未熟)
- 多職種対象、ターゲットが大きい場合は研修企画に苦渋

…悩みは尽きない

第2回看護部会 全体を通して

- 医療安全元年から10年強。そろそろ次のステージへの新しい取り組みが必要か？
 - …今一度基本に帰る、初心に帰る時か
- メールでのやり取りで日常の悩みをお互いに相談し合える関係が出来ている
- 部会を通じて、情報共有・交換を継続していきたい

ざっくばらん相談会…これが大切

